

1-2 市のシンボル

(1) 市章

平成 18 年制定。緑と青の 2 色は山・川・海の豊かな自然を象徴。連携する 3 つの円は合併 3 市町の絆であり、調和・協調・交流を表わし、オレンジの円に一人ひとりの輝きと市民の活力の意味が込められている。



(2) 市の花・木・鳥等

市の花 さくら	市の木 けやき	市の鳥 ひばり	市の魚 さけ	市の昆虫 ほたる
				
分類：バラ科サクラ属。「ひとが集い輝くまち」の象徴。	分類：ニレ科ケヤキ属。「みどりを育むまち」の象徴。	分類：スズメ目ヒバリ科。「みんなで築くまち」の象徴。	分類：サケ科サケ属。「豊かな自然が心を一つにつなぐまち」の象徴。	分類：コウチュウ目ホタル科。「自然と共生するまち」の象徴。

資料：ズームアップ南相馬 観光ガイド

1-3 沿革

(1) 小高・鹿島・原町の歴史

元亨 3 年（1323 年）に相馬重胤が下総の国（千葉県流山市付近）から下向して、現在の原町区太田地区に館を築いたのが始まりとされている。藩政時代は、宿場町として栄えた。

旧小高町については、明治 22 年の町村制実施の際に小高村となり、明治 31 年に町政を施行して小高町に改称され、昭和 29 年に小高町、福浦村、金房村が合併し、小高町が誕生した。

旧鹿島町については、明治 22 年の町村制実施の際に鹿島村となり、明治 31 年に町政を施行して鹿島町に改称され、昭和 29 年に鹿島町、真野村、八沢村、上真野村が合併し、鹿島町が誕生した。

旧原町市については、明治 22 年の町村制実施の際に原町村となり、明治 30 年に町政を施行して原町に改称され、昭和 29 年に原町、太田村、大甕村、高平村が合併して原町市が誕生し、さらに昭和 31 年には石神村が合併した。





(2) 南相馬市の誕生

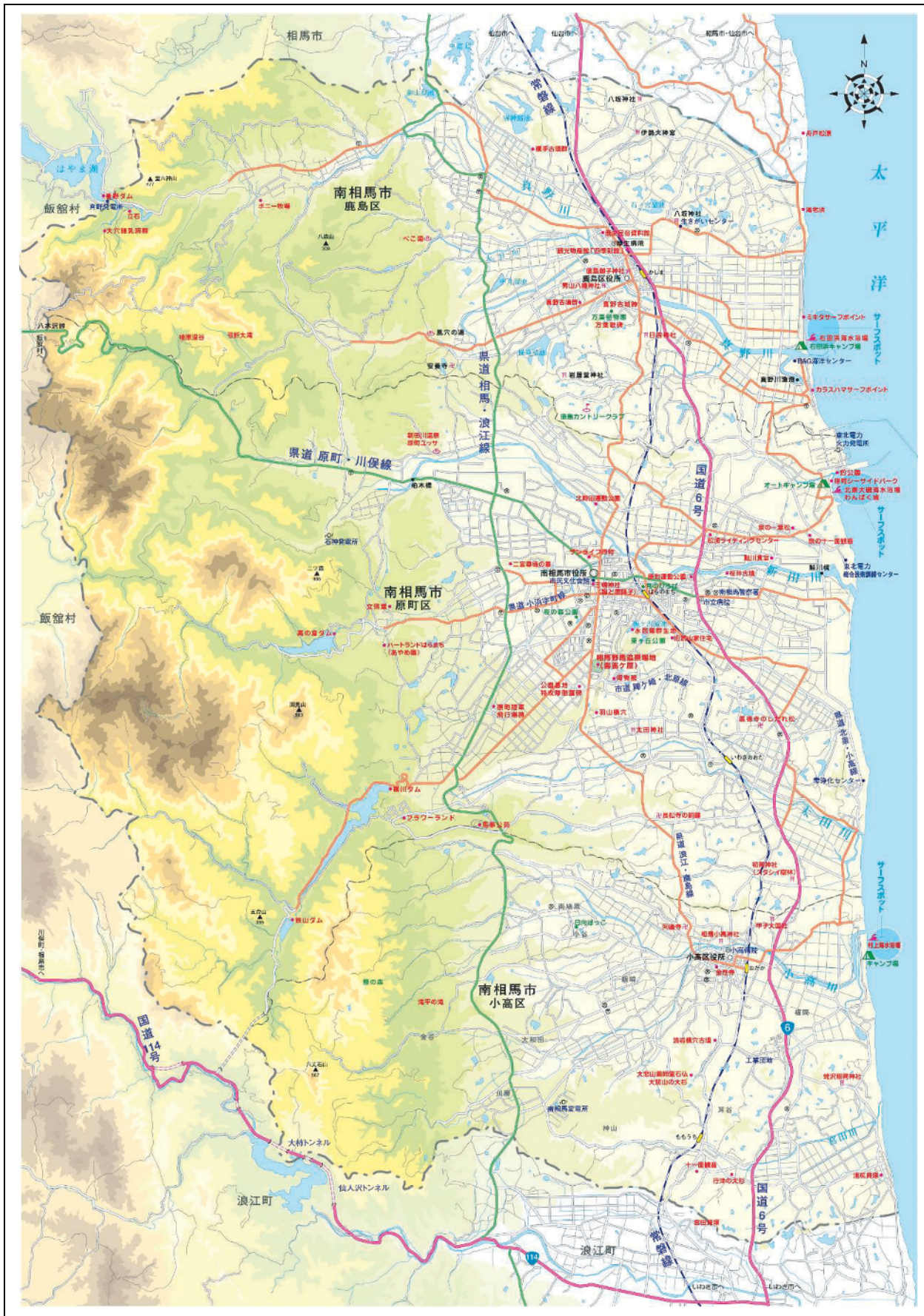
相馬地方の合併協議は、当初、相馬市、原町市、新地町、鹿島町、小高町、飯館村の 6 市町村から始まった。平成 15 年 1 月に設置された相馬地方任意合併協議会において協議がすすめられたが、合併特例法の期限までに 6 市町村合併は困難となり、7 月に協議会を解散した。

平成 15 年 9 月、飯館村、鹿島町、原町市の 3 市町村による任意合併協議会を設置、住民懇談会が各地で開催され、合併の賛否を問う住民投票が行われた。平成 16 年、浪江町と法定協議会を解散した小高町が加入、2 月に 4 市町村による南相馬合併協議会が設置された。その後協議を重ねたが、11 月に飯館村が脱退、12 月 27 日の第 18 回合併協議会ですべての協定項目についての協議を終え、平成 17 年 2 月の合併協定調印式を経て、12 月 31 日に協議会は解散、翌平成 18 年 1 月 1 日、南相馬市が誕生した。

○資源

南相馬市には、古墳時代や藩政時代の史跡や、豊かな自然を生かした観光施設等が点在している。

主な文化財		
桜井古墳（国指定史跡）	大悲山の石仏（国指定史跡）	旧武山家住宅（国重文）
		
観光・文化施設等		
南相馬市博物館	泉の一葉松	道の駅南相馬
		
鹿島カントリークラブ	立石	滝平の滝
		
大悲山の大杉	野馬追通り銘醸館	馬事公苑
		
サーフスポット（北泉海岸）	火の祭	あかりのファンタジー
		



■南相馬市観光マップ

資料：南相馬市ホームページ